Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム招へい
（パラグアイ及びブラジル派遣）記録

テーマ：
パラグアイ共和国:日本人移住 90年を踏まえたパラグアイ国内の日系社会への理解促進及び活動発信

ブラジル連邦共和国: 日本ブラジル友好交流年を踏まえたブラジル国内日系社会の活動発信

1. プログラム概要

【目的】日本とパラグアイ共和国及びブラジル連邦共和国との友好関係の強化並びに日本の外交姿勢や魅力等の対外発信の促進を目的として、同国における交流プログラムへの参加機会を提供し、両国間の青年交流の更なる活性化を目指し、プログラムを実施した。

【参加者】大学生８名

【訪問地】パラグアイ共和国　イグアス、アスンシオン
ブラジル連邦共和国　サンパウロ、リオデジャネイロ

2. 日程

■事前学習（オンライン）

1月19日（月曜日）　第１回来日前オリエンテーション
（本プログラム事前説明、参加者顔合わせ等）

2月13日（金曜日）　第2回来日前オリエンテーション
（渡航にかかる注意事項、危機管理、連絡体制等）

■現地プログラム

2月22日（日曜日）　シルビオ・ペティロッシ国際空港 到着、休息
【表敬】大使公邸にてブリーフィング
アスンシオンからイグアスへ陸路移動
【交流】若手日系人とJOCVとの夕食交流会

2月23日（月曜日）　【交流】イグアス日本人会訪問
【視察】移住資料館訪問
【視察】イグアス地区／農地訪問
【視察】MICHI no EKI 訪問
イグアスからアスンシオンへ陸路移動

Juntos!!

2月24日（火曜日）　【視察】Boutique Denim Factory（BDA）訪問
【視察】パラグアイ日系・日本人会連合会訪問
【視察】木工工房（Palo Santo Midori）訪問
【視察】SENATURガイドによる歴史地区ツアー
【交流】大使公邸にて若手メンバーとの夕食交流会

2月25日（水曜日）　シルビオ・ペティロッシ国際空港へ移動
アスンシオンからサンパウロ(ブラジル)へ空路移動
グアルーリョス国際空港(サンパウロ)到着

2月26日（木曜日）【交流】文教青年部訪問
【視察】移民史料館訪問、リベルダーデ地区散策
【視察】ブラジル日本商工会議所
【視察】ジャパンハウス
【視察】三菱商事ブラジル支店

2月27日（金曜日）　【表敬】在サンパウロ日本国総領事館表敬
グアルーリョス国際空港(サンパウロ)に移動
サンパウロからリオデジャネイロまで空路移動
アントニオ・カルロス・ジョビン国際空港垂リオデジャネイロ堀到着

2月28日（土曜日）　【交流】日本商工会議所（ICBJ）
【視察】RENリオデジャネイロ
【視察】リオデジャネイロ市内視察

3月1日（日曜日）　リオデジャネイロから日本へ帰国

3月3日（火曜日）　羽田／成田空港到着
※3月2日帰国予定だったが、中東情勢により搭乗予定のフライトが欠航、振替便での帰国となった

Juntos!!

3. プログラム記録写真

	
2/22【表敬】大使公邸にてブリーフィング	2/22【交流】若手日系人とJOCVとの夕食交流会
	
2/23【交流】イグアス日本人会訪問	2/23【視察】MICHI no EKI 訪問
	
2/24【視察】Boutique Denim Factory 訪問	2/24【視察】Palo Santo Midori 訪問

Juntos!!

	
2/24【SENATURガイドによる歴史地区ツアー	2/24【交流】大使公邸にて若手メンバーとの夕食交流会
	
2/25　アスンシオンからサンパウロ(ブラジル)へ空路移動	2/26【交流】文教青年部訪問
	
2/26【視察】移民史料館訪問	2/26【視察】リベルダーデ地区散策

Juntos!!

	
2/26【視察】ブラジル日本商工会議所	2/26【視察】ジャパンハウス
	
2/26【視察】三菱商事ブラジル支店	2/27【表敬】在サンパウロ日本国総領事館
	
2/28【視察】日本商工会議所（ICBJ）	2/28【視察】RENリオデジャネイロ

	
2/28【視察】リオデジャネイロ市内視察	3/1リオデジャネイロから日本へ帰国
	
3/31　帰国後報告会	3/31　帰国後報告会

4. 参加者からの声（抜粋）

●参加大学生
多岐にわたる世代、特に若者世代との交流が叶った点、色々な立場の方々と意見交換をさせていただき多角的な学びに繋がった。食事においても現地のものを味わうことができたり、学びや訪問の場以外にも市内視察などの時間もいただくことができたことでより両国を身近に感じられた点も充実していた。派遣を終えた今、7日間を大いに恋しく感じている。

●参加大学生
通常ではなかなか訪問することのできない政府機関や企業、各種イベントに参加させていただき、多角的な視点からブラジル・パラグアイの日系社会について学ぶことができた。幼少期にブラジルで生活していた経験があるが、当時生活してきた頃とは異なる立場・視点から現地を見ることができ、大変有意義だった。
また、帰国時にトラブル（中東情勢によるフライト欠航）が発生した際にも、参加者の意見を柔軟に受け止め、迅速な対応に感謝している。

●参加大学生
日系コミュニティや日本企業の訪問、現地の学生との交流などとても充実した1週間で、限られた期間で様々な経験ができた。一方で、1週間でアスンシオン、イグアス、サンパウロ、リオデジャネイロの4都市を回るのは移動が多く身体的な負担が大きかったほか、各都市についてもっと知りたかったとも感じている。

5. 成果報告会内容（抜粋）**Action Plans Presented at the Reporting Session (excerpt)**

- 日系コミュニティ：国によって異なる歴史と背景を学び、日系人の努力が現在の日本・南米関係を支えていることを学んだ。また、人口減少、言語・文化継承の課題など新しい日系社会を築く若手日系人の役割の重要さも知ることができた。
- 多文化共生：文化的差異があるなか、受容社会・移民がお互いを理解する努力をすること、また社会の一員として、お互いを認め「一緒に頑張ろう」という気持ちを持つこと（Juntos!!精神）の大切さを再認識した。
- 今後のアクションプラン：
  ①研究や活動を通じて、若い世代の中南米に対する理解を深める
  ②プログラムを通じて築いた友好関係を維持・強化する
  ③日本人と中南米人が交流できるプラットフォームをつくる（SNSやイベント）

実施団体：公益財団法人**AFS**日本協会